

「2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した 地域活性化推進首長連合」設立趣意書

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催という機会は、単なるスポーツの祭典に留まるものではなく、これを契機として各地域がその特色を活かした様々な取組を行うことにより、地域の活性化と魅力の発信につなげていくことが可能となります。

2012年のロンドンオリンピック・パラリンピックでは、開催4年前から「カルチュラル・オリンピアド」と題した「文化プログラム」が実施され、ロンドンだけでなくイギリス全土で約18万に及ぶ文化イベントが展開され、国全体の活性化につながっております。

既に東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、首都圏を中心とした文化芸術施策の一層の強化を図る提言やいくつかの地域においても地域の特産品の五輪施設への納入を目指す動き、キャンプ地の誘致に向けた準備が行われつつあります。

これらの動きに合わせ、それぞれの地域が脈々と受け継いできた歴史・文化、自然、伝統工芸や食など様々な分野における地域の魅力を改めて発掘・整理し、東京オリンピック・パラリンピックを契機として増加が見込まれる外国人観光客に向けて発信するとともに、地域の特色を活かしたオリジナリティあふれた取組を提案・実践し、地域の活性化を進めていくことが重要です。

また、こうした取組をその地域だけに止めることなく、広域的な連携を図りながら進めることにより、世界に向けて日本と地域の魅力及び総合力を発信し、地域の活性化をより確実なものとするにつながりま。

こうした現状認識の下、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催をチャンスと捉え、開催までの短い期間の中で地域の活性化に向けた

具体的な取組を戦略的かつ効果的に実践していくとともに、各自治体の知恵と力を結集し、東京オリンピック・パラリンピックを強力に支援するため、ここに「2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合」の設立を発起する次第であります。

平成27年3月1日